



# 地域型保育事業について



子ども部子育て対策課  
子ども政策室



# ♥ 地域型保育事業の概要



## 第4の認可施設

新制度では、子どもの教育・保育を行う場所として、現行の認可施設である幼稚園、認定こども園、保育園に加えて、新たな認可事業「地域型保育事業」が加わる。

## 地域型保育事業の特徴

- 定員は原則19人以下
- 対象年齢は、原則2歳児クラスまで（卒園後の受け皿として、連携施設を要設定）
- 利用の申込みは、市で受付し、保育園と一緒に利用調整
- 利用者負担額（保育料）は、市で定めた保育料を、施設に納付する。
- 保育園と同様に給食を提供



## 地域型保育事業の種類

小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	居宅訪問型保育事業
<p>認可定員：6～19人</p> <p>A型 …保育園に近い型</p> <p>B型 …A型とC型の中間型</p> <p>C型 …家庭的保育に近い型</p>	<p>認可定員：1～5人</p> <p>家庭的な雰囲気のもとで、保育を行う。</p>	<p>会社の事業所の保育施設などで、従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育する。</p>	<p>障害・疾患などで個別のケアが必要な場合や、施設が無くなった地域で保育を維持する必要がある場合などに、子どもの自宅で1対1で保育を行う。</p>



# ♥ 小規模保育事業の認可基準



類型		A型	B型	C型
職員に関する基準	職員数	保育園の配置基準 +1人	保育園の配置基準 +1人	3人に対して1人 補助者を置く場合は 5人に対して2人
	職員資格	保育士	1/2以上が保育士	家庭的保育者 講義と実習による認定研修を受け、 保育士と同等の知識や技術を持って いると市から認定を受けた者
		(参考) 保育園の基準・・・0歳児：3人に対して1人，1・2歳児：6人に対して1人		
施設に関する基準	定員	6人以上 19人以下	6人以上 19人以下	6人以上 10人以下
	保育室等の面積	0・1歳児：1人3.3㎡ 2歳児：1人1.98㎡	0・1歳児：1人3.3㎡ 2歳児：1人1.98㎡	1人3.3㎡
		(参考) 保育園の基準・・・定員：20人以上		
		(参考) 保育園の基準・・・0・1歳児：1人3.3㎡，2歳児：1人1.98㎡		



# ♥ 小規模保育事業以外の認可基準



類型		家庭的保育事業	事業所内保育事業		居宅訪問型保育事業
職員に関する基準	職員数	3人に対して1人 補助者を置く場合は 5人に対して2人	保育園の 配置基準 +1人	0歳児 3人に対して 1人 1・2歳児 6人に対して 1人	1人に対して1人
	職員資格	家庭的保育者 講義と実習による認定研修を受け、 保育士と同等の知識や技術を持って いると市から認定を受けた者	1/2以上 が保育士	保育士	家庭的保育者 講義と実習による認定研修を受け、 保育士と同等の知識や技術を持って いると市から認定を受けた者
施設に関する基準	定員	1人以上 5人以下	定員 19人以下	定員 20人以上	 <p>必要な広さ (子どもの自宅)</p>
	保育室等の面積	1人3.3㎡	0・1歳児： 1人3.3㎡  2歳児： 1人1.98㎡	0・1歳児： 1人3.3㎡  2歳児： 1人1.98㎡	